

男女共同参画だより

メツセージ

問い合わせ先
男女共同参画推進課
 TEL(36)0048
 FAX(36)0320

男女共同参画推進センター
 「ゆい」
 TEL(36)0250
 FAX(36)0269

お互いを尊重して、みんなが
 幸せに生活できるまちづくり

男女共同参画推進懇話会が 意見書を提出



市男女共同参画推進懇話会（山下副会長、石山さゆり副会長）が、「第2次市男女共同参画プラン」に掲げられた事業に対し、市ではどのように取り組んだのかを審議。その結果をまとめた意見書を10月22日、谷井博美市長に提出しました。

意見書では、同プランの4つの基本目標の取り組み内容について市へ提言。市では今後、同懇話会の意見を尊重しながら、男女共同参画社会の実現に向けて取り組みを実施していきます。

総括



谷井市長（左）に意見書を渡す
 山下会長（中央）と石山副会長

13年4月に始まり、すでに14年が経過しました。また、第2次市男女共同参画プラン（平成23年度～同32年度）については、後期に向けての見直しの年を迎えています。

主幹部署である男女共同参画推進課と各部署の地道な努力によって改善が進

み、成果が着々と表れていると思います。具体的な実施内容についても数値目標を設定した活動ができていくことが認められます。今後は、男女共同参画の課題・問題にあためて整理し、なぜこの事業を実施するかを明確にして、後期プランでは原点に返って設定することが重要です。担当部署が、通常業務として実施すべき取り組みを考慮し、男女共同参画推進に關する事業を集約し効果的に実施し、さらに改善を進めてください。

基本目標Ⅰ
 ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の確立に向けた社会づくり

① 男性の家事・育児参加

高齢者の介護や子育てが、まだまだ女性に比重が高いことから、負担軽減が必要と考えます。引き続き家庭生活での男女共同参画の啓発を進め、女性の社会進出が増えるような具体的な事業展開を望みます。

② ワーク・ライフ・バランスの推進

企業や事業所側の意識改革や取り組みが不可欠ですが、これに対する施策を重点的に推進していく重要性を強く感じます。男女が共に仕事と家庭の両立を図っていくために、今後も啓発と情報提供を粘り強く続けてください。

基本目標Ⅱ
 一人一人の権利が尊重される社会づくり

【DV対策の強化】

DV被害者支援は特に関係部署との連携が非常に重要な事案であり、このところ生き方の相談・事業の実施をはじめ、行政の窓口を一元化して、被害者の安全確保を図って

手続きの支援を実施していることは評価できます。保健福祉環境事務所や警察署などの関係機関も隣接して、緊急対応が必要な場合にも、迅速に連携するなど効果的な施策が進められています。

DV防止という課題についても、若年層からの教育・啓発が望まれます。

基本目標Ⅲ
 性別にとらわれない社会づくり

【男女共同参画意識の浸透、教育・学習の場での男女共同参画の推進】

世代によって差はあるものの、男女共同参画意識は随分浸透してきていると思えますが、固定的役割分担意識が未だに根深くあるのが現状です。講座や講演会、広報紙、ホームページなどで幅広く積極的に取り組んでいますが、今後さらに強化していただきたいと思

基本目標Ⅳ
 個性と能力を發揮し、男女が共に参画できる社会づくり

【女性の参画】
 男女共同参画社会は、男女が社会の対等な構成員として、自らの意思に

よって社会のあらゆる分野の活動に参画する機会が確保される社会です。審議会等委員の女性比率は、県下自治体の中でも高い水準にあります。比率は35%前後で推移しており、今後はさらに高い数値を目指して取り組まれることを望みます。

【リーダー育成】

グローバルな意識を持った人材づくりについては、今後は男女共同参画が進んでいる国との交流を広げながら取り組んでいくことを望みます。



小学4年生が 宗像ユリックスで プロの演奏を鑑賞



11月6日、市内の小学4年生が、宗像ユリックスハーモニーホールで実施された九州管楽合奏団演奏会を鑑賞しました。

このコンサートは、市文化芸術のまちづくり10年ビジョンの重点プロジェクトの一つとして、子どもたちから専用ホールで本格的な文化芸術に触れることを目的として実施されているもので、今年で5回目になります。

この事業の特徴の一つに、楽団の奏者たちがコンサートに先駆けて各校を訪問する事前授業があります。子どもたちは授業の中で楽器の名前や特徴、音楽の聴き方、ホールでのマナーを勉強して当日を迎えました。

コンサートは、ゲストに米米CLUBのサクソフォン奏者のオリタノボッタさんを迎えての演奏。事前に授業で勉強していた子どもたちはマナー良く鑑賞し、さまざまな楽器が織り成すハーモニーに耳を傾け、躍動する演奏に自然と手拍子をするなど、素晴らしい音楽を心から楽しんでいました。

また、プログラムの最後には、全員が演奏に合わせて、合唱曲「Believe」を唄う部分もあり、子どもたちの元気な歌声がホールに響き渡りました。

コンサート終了後は、演奏を終えたばかりの楽団員や、指導者のヨハン・デ・メイさん、ゲストのオリタノボッタさんと触れ合う一幕も。子どもたちにとって大変素晴らしい体験になった様子でした。

現在、市では「音楽があふれるまちづくり」を進めています。このコンサートを通して、さらに音楽に親しみを感じてもらいたいと思います。

九州管楽合奏団の演奏に合わせて「Believe」を歌う子どもたち

■問い合わせ先 文化スポーツ課 ☎(36)1540

むなかたガイド 2015募集

- 申込期間 12月15日（火）～平成28年1月12日（火）午後5時
- 申込必要事項 ①住所 ②氏名 ③年齢 ④生年月日（西暦） ⑤性別 ⑥学校名・学年 ⑦電話番号 ⑧メールアドレス
- 申込先 子ども育成課
- FAX (37) 3046
- E-mail k-ikusei@city.munakata.fukuoka.jp
- 問い合わせ先 子ども育成課 ☎(36)1214

